

# 愛知県経済の現状と見通し<2014年3月>

## 1. 総括判断

景気の現状	景気は回復傾向にある	基調判断の 前月との 比較(注1)	→	水準 評価 (注2)	☀️   ☁️
当面の見通し	消費増税の影響により一時的に弱い動きとなる見通し		↘		☀️   ☁️

## 2. 個別項目の動向

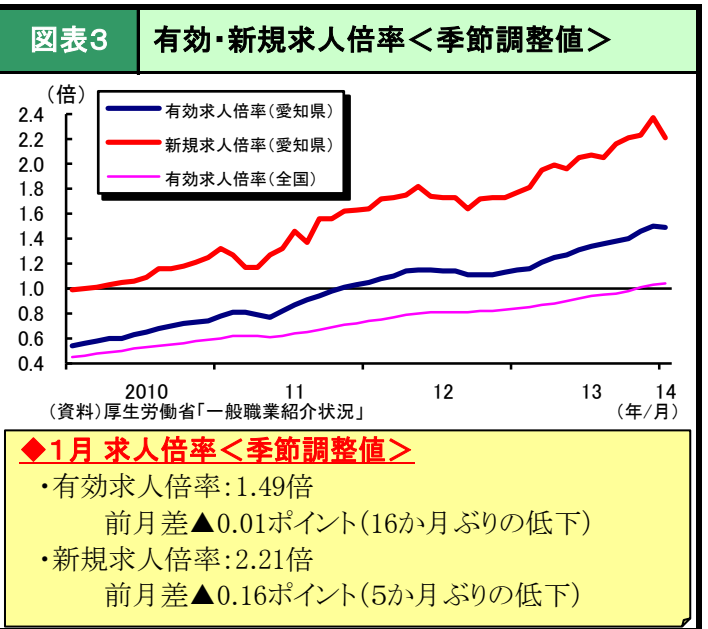
個人消費	基調判断	回復色が鮮明に		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️   ☁️
<p><b>《現状》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、1月の名古屋市百貨店販売額は前年比+7.8%と6か月連続の増加。</li> <li>○品目別にみると、主力の衣料品(前年比+3.5%)の伸びがやや鈍化したものの、貴金属、宝石、腕時計などの高級品を含むその他(同+17.7%)が引き続き好調。</li> <li>○一方、2月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、39,531台・前年比+18.0%と6か月連続の前年比プラス。</li> <li>○車種別にみると、小型車(前年比+6.1%)は一株の伸びとやや鈍化したものの、普通車(同+25.4%)、軽乗用車(同+22.1%)は引き続き二桁の伸びとなるなど好調を維持。</li> </ul> <p><b>《見通し》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○消費者マインドや賃金・賞与など所得環境の改善に加え、4月の消費増税を控えた駆け込み需要、などから、高級腕時計、貴金属、宝飾品、海外ブランド品など高額商品の売れ行きは好調に推移しているものの、4月の消費増税後は駆け込み需要の反動減から高額品を中心に一時的に下ぶれの動きとなる見通し。</li> <li>○乗用車については、自動車取得税の引き下げやエコカーに対する税軽減措置の拡充等があるものの、消費増税による負担分をカバーできないことが多く、当面の販売は鈍化する見通し。</li> </ul>				
<b>図表1 名古屋市・百貨店販売額&lt;前年比&gt;</b>				
		<p>(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売」 (年/月)</p>		
		<p><b>◆1月 名古屋市・百貨店販売額</b></p> <p>385億円 前年比+7.8%(6か月連続の増加)</p> <p>・うち衣料品 前年比+3.5%(3か月連続の増加)</p>		
<b>図表2 新車乗用車販売台数&lt;前年比&gt;</b>				
		<p>(資料) 日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」 (年/月)</p>		
		<p><b>◆2月 新車乗用車販売台数&lt;含む軽&gt;</b></p> <p>39,531台 前年比+18.0%(6か月連続の増加)</p>		

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、↗: 上方修正、→: 据え置き、↘: 下方修正を示す。例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる。したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

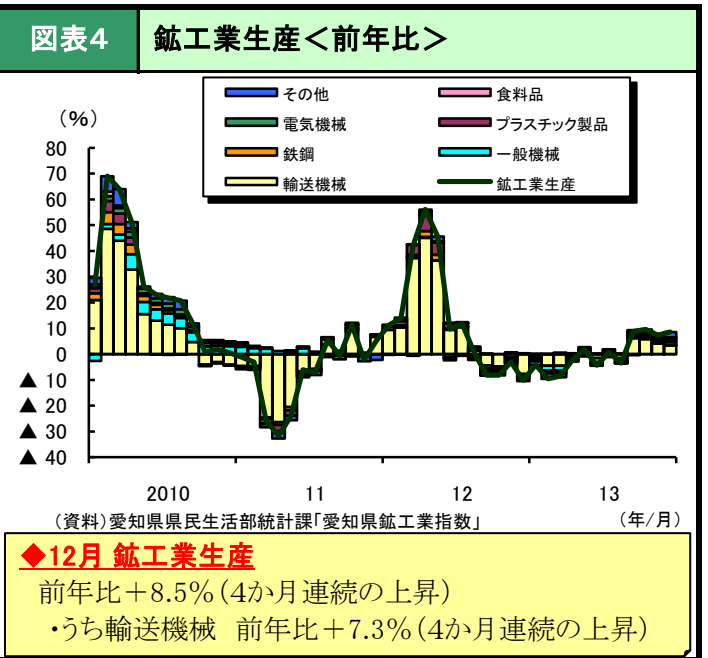
(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、☀️: 晴、☁️: 晴～曇、☁️: 曇、☁️⚡️: 曇～雨、⚡️: 雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 別府
	電話: 059-354-7102

雇 用 情 勢	基調判断	回復している		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️
	<p>《現状》</p> <p>○1月の求人倍率をみると(図表3)、有効求人倍率(季節調整値)は1.49倍と16か月ぶり、新規求人倍率(同)は2.21倍と5か月ぶりにそれぞれ低下。</p> <p>○もっとも愛知県は有効求人倍率で全国1位、新規求人倍率で全国3位となるなど高水準で推移。</p> <p>《見通し》</p> <p>○景気回復の動きが非製造業から製造業へ広がるなかで、幅広い業種で求人が増加する見通し。</p>			



企 業 活 動	基調判断	回復色が鮮明に		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️☁️
	<p>《現状》</p> <p>○12月の鉱工業生産指数をみると(図表4)、前年比+8.5%と4か月連続のプラス。県内の生産動向に大きな影響を与える輸送機械(同+7.3%)の生産増加が主因。</p> <p>《見通し》</p> <p>○愛知県の鉱工業生産に大きな影響を与えるトヨタ自動車の国内生産動向をみると、1月も5か月連続で前年比プラスとなっているものの、消費増税に伴う販売面のマイナスが生産動向にも影響を与える見通し。</p>			



輸 出	基調判断	回復している		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️☁️
	<p>《現状》</p> <p>○1月の名古屋港通関輸出額をみると(図表5)、前年比+11.4%と13か月連続の増加。二桁の伸びは10か月連続。</p> <p>○仕向地別にみると、西歐向け(前年比+6.6%)は一桁の伸びとなったものの、米国向け(同+18.1%)、アジア向け(同+12.9%)で二桁の伸び。</p> <p>《見通し》</p> <p>○一般機械は中部5県主要メーカーの海外受注高(1月:前年比+17.9%)が4か月連続のプラス。地域別にみても、欧州向け、北米向け、アジア向け全てでプラス。海外需要は引き続き底堅く推移する見通し。</p>			

